

広報ひらつか

—新平塚計画特集号—

昭和53年3月31日／神奈川県平塚市役所発行／編集・企画室秘書広報課／
毎月15日／81,000部／全世帯配布（一部5円）／昭和31年10月3日 第三種郵便物認可 郵便番号254



魅力あるまちに

SF小説がブームになっています。絵空事でない、なにか科学的な根拠、ありうることを秘めているところに、人々の共感を湧かせるのでしょう。人は常に現代への不満をもっていますし、またそれがなければ生きられない動物ともいえます。そうした不満に少なからず夢をもたせてくれるSF小説に人気が集まるのでしようが、二十一世紀へ向けてのまちづくりには、現実を確かな目で見る努力が必要です。物心両面で、「残すべきものは残す」という決断も必要でしょう。

庶民のささやかな願いも、糸をたぐれば都市づくりの基本的な問題に突き当たります。まちに変化がないようでも、十年を節としてながめてみますと、その成長をつかむことができます。それぞれの時代の市民が懸命に努力をしてきたことがわかります。平塚はそういうまちです。いつの時代も何か息吹きを感じさせる不思議な魅力をもってきました。これは、これからの大事にしていかなければなりません。

相模川以東には、神奈川県民の八五・六割の人が住んでいます。市街化の線引き状況でも、以東は同地域一六・四・四二平方キロの六九・三割を、以西では同地域一三・六・三八平方キロの一〇・七割が市街化区域といった具合に、極端な違いを示しています。したがって、人の流れが相模川以西へと移動を開始している中では、「自然との調和」といった点に、あらためて目を向けていかなければなりません。

相模川河口から、県央・県西に向けて広がる我が平塚は、中心的核都市となるにふさわしい魅力を十分に備えています。川と海、台地をどのように市民生活と結びつけていくか、市民の宿題でもあります。昭和五十二年度で策定する「新平塚計画（仮称）」も、その心づもりで取り組めます。快適な生活を営むための条件整備に、またひとつの転機が訪れたといえましょう。

平塚はこうりたい

社会ルールを守る

行政との接点を求めて



道路 車は の下 なり 道へ あた 存じ こと 道路 いで

す
て
こ
の
か
す

能な
い平
うと
らの

い き 当 然
が 生

562

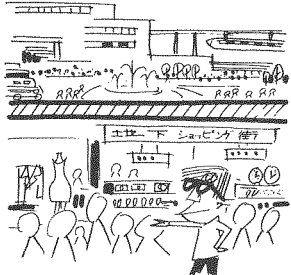
新しい息吹きがほしい

市長 加藤 禎 吉

[illegible]

平塚の抱えている大きな欠点は、やはり、一言でいえば後進性といふことではないかと思えます。例えば、商業の面では戦前からの商業都市でありながら、夢を賣う、

中心街から車の一掃を



司会　いろいろと話題が出ましから働きかけることは避けている



夢前広場の啓題、中心商店街の啓題が出ましたが、なにか……。

農耕地の再統合を

丘陵地をレジャー牧場に

小池 市の西北部にかなり広い丘陵地帯があります。ここを二十世紀の新しい農業の場所にできないものでしょうか。レジャー牧場を兼ねた干菜畑のマザー牧場の

うでしようか。

因国が市道になりました。こゝ東海道本通り線を、車線すづにて、中央の二車線分に植樹ベルトをつけたらと思います。例へば、い物道路としてのうるおいをもせたら、新宿の商店街そのもののイメージ・チェーンして来るのではないかと思います。

司会 商業の振興策も含めて

通りの地下を駐車場にできない
と思えます。

司会 いま小池さんから、バ
セツター、駐車場、地下商店街
出されなごうか、いかにしてしま
瀬能、なにがスベースは小
いです。どういう活用の仕方を
ても結局は駐車場も含めて、車
入れをということを押提にして
ますと、飽和状態になってしま
と思います。少くとも中心商店



れたところ、集中的な駐車場をつくらせて、バスを送迎、モノレーンとか、いろいろな方法はあるでしょうが、そうしたおもしろい方法でやってみたらどうかと思ひ



潮尾良行氏

井出 東海道筋の各市と比較
てみて、平塚はよくできている
と思います。例えば、静岡市は
変よくできていますが、その静
岡から来た人が、「平塚駅は寒
い、バスに乗るのにスムーズで
ない」と、整頓されていること
心していました。もちろん、こ
の姿でよいと私は満足している
わけはありませんが、ともかく
よくできていると思います。もの

バスターミナルの問題、確かに駅前広場の利用の仕方では考えていく必要があると思います。市民の不満よくわかります。

瀧尾 J・Cでは、そのことで暫定的なことですが、駅前広場のまわりの商店を高層化して、現在の建物二階のところに入土地区盤をつくって、そこを広場にしたらどうか、地下を掘るより安いのではないかと思います。

といわれる紅谷町、東海道本通り線からは車を一掃するという考え方ですすめていったほうがよいように思えます。

ます。まず車を中心商店街から轉す、ということを提案したいわけです。

それから、錦町の駐車場のところ、あそこを二、三年の間にやられてほしいと思うのですが、あそこを立体的な駐車場にして、その中に商工会議所なんなんなりをもってきて、市民が憩える場所にしてほしい。

いっても自転車山、これをもち
解決するかです。

瀧尾 車より公害ともいえます
市長 神奈川県市長会を代表
して昨午暮に国鉄の東横局長に会
い、さらに全国市長会、地方六団
体を通じて、高木総裁、運輸省と
も折衝をつづけています。電車を
利用する人たちの下駄箱をつくる
土地ぐらひは心配してほしいと、



砂利採取場

つてシヨットピングを業とする公園道路に、自走車の置き場、全國のどこでも、これらいいものを、つくつたのであります。

の締め出し案は、はたして可能なのか心配です。

井出 締め出すといっても、平塚市内全域から締め出すということではないですよ、中心街からの締め出しという意味です。「人車一体」はそのとおりです。そうであるだけに駅から一定距離のところには駐車場を設けたいのかなかという点です。

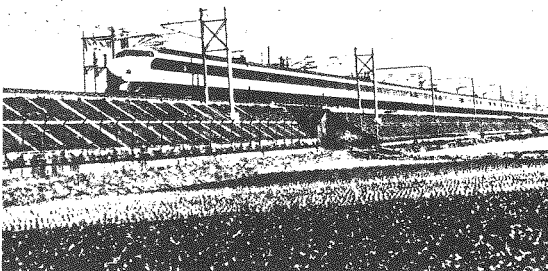
市長 国道を市道にしたのは、

平塚市には、さらに湘南平といふすばらしいところがあります。これに対応して相模川の流域に自然を生かした公園とか、須賀港園辺には観光漁業の開発といった立派市のイメージを高めるような立派なものがほしいと思います。

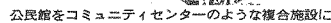
越前 平塚に住んで、お
おききで気に入っています。子中
たちは平塚で生まれました。子中
たちのふるさととして、教育の園
でよりよい教育を受けられるよう
なまちであってほしいと願って
います。

とも、車は過飽和状態です。これは湖尾さんのいわれるように、本当の駅近々というのは、車を入れないほうがいい、と思います。そして、ゆつくり買物を楽しまないような感じがしていきたいと思います。

越智　いま子供たちは、当然車を持つという感覚です。車が生活の一部になっている時代です。



新幹線相模駅を中心に平塚の副都心を……



地域重視を基本に
すすんで勉強する場を



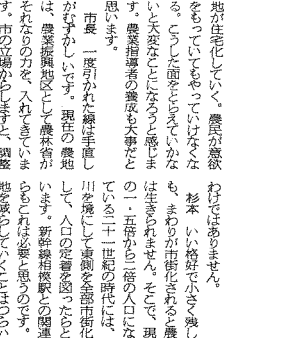
る場を



駅前には、夢を買う、楽しいショッピング広場に

司会　話題を少し変えていた
らうけれど、

小池　具体的な論議意義云々でな
くて、なにを主張した地域であ
るのかというところを市の合
意のもとに決めていくとよいと思
います。例えば、公園地帯であ
ればいわゆるその近辺には家
のな純粋の自然の中で、レジャー
を楽めるようなところも可能にな
るだろう、という空です。



よんなものはけだし。少年
や老人も、そこで遊ぶちやな
戀的な牧場経営ができぬ。思
ひ的だが、

それから、牧場でなして、
平養の場合は、特に園芸を希
展さていく方向もえられん
れす。

瀧尾 西部の巨匠は、民間テバ
ロバーも手にしている聞て
います。私も牧場といふことで考
えたいことがあります。北海道で

「一海潮野は、幾時かといふこと迄から、牧場は幾時か、牧畜が盛んであるといふのは、放ておいても草が生えてくる国でないかと、命が日本では有てしまふから、命が何かで、操が合はれといふことが出来た。現在、市内で有て作つてある農産の方で成功してゐるようです。花々がいろいろではないですか。」

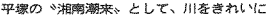
農地は売買が禁止されてゐますが、意のある方々が、農地を所有して、それ國・果物が開墾されていゝといふことで、分割してゐる方の家が、大半所有する方向、もつていふと、思ひます。

司会 市のまわりの市役所など、
どこにでもか。

井出 市にこれほど都市計画図が
あります。これを手帳に描いてお
うて、今後に臨まなければならない
と思います。私も、自分なりに平
すりにして、

遠い先を見極めて

まの地図をつくっています。昭
和二十年前後のもの、最近のもの
とが二つありますが、大分違
うところをおかしたくないな
ら、思っています。

[illegible]

[illegible]